

# 市営流留住宅解体工事

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
		A 2			A 2
A - 00	表紙・図面目録	No scale	E - 01	電気設備平面図（2号棟）	1/50
A - 01	解体工事特記仕様書 1	No scale	E - 02	電気設備平面図（3号棟）	1/50
A - 02	解体工事特記仕様書 2	No scale	E - 03	電気設備平面図（5号棟）	1/50
A - 03	案内図・工事概要・配置図	1/200	M - 01	配置図・掘削断面図・撤去器具表・特記事項	1/200、1/10
A - 04	仕上表・求積図・求積表・平面図・立面図（各棟共通）	1/200、1/100、1/20	M - 02	各棟平面図・特記事項	1/100
A - 05	外構撤去図、撤去詳細図	1/100 1/30			
A - 06	解体後敷地図	1/150 1/20			
A - 07	仮設計画図	1/150			

[illegible]





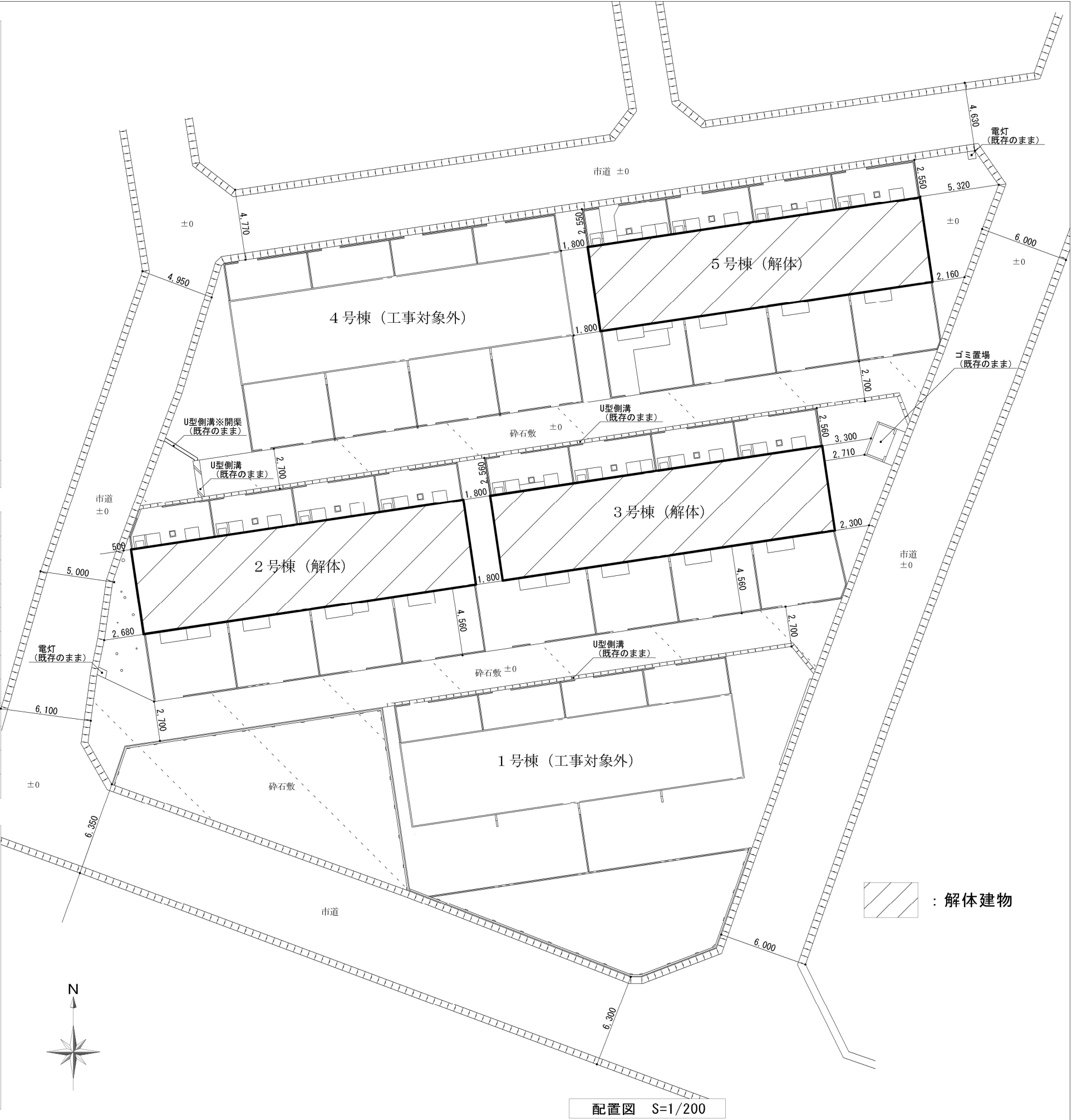
案内図

〈 工事概要 〉

工事場所	石巻市流留字家の前10番地20		
解体内容			
解体建物名	構造・規模	延べ床面積	備考
2号棟	鉄筋コンクリート造（組立式）	125.88 ㎡	
3号棟	鉄筋コンクリート造（組立式）	125.88 ㎡	
5号棟	鉄筋コンクリート造（組立式）	125.88 ㎡	

〈 建了解体特記事項 〉

- ・ 請負者は工事の着手に先立ち、施工計画書作成のための調査を行う。
- ・ 本工事により発生する壁材屋根材等、アスベスト含有廃棄物について、
  - －「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第二版、平成23年3月環境省）」に則り処理・処分を行う。
  - －アスベスト含有の有無について、目視確認、建材メーカーへのヒアリング等を実施し、結果を遅延無く監督員に報告する。なお、別途成分分析試験が必要な場合は監督員と協議を行う事。
  - －石綿含有廃棄物の処理計画、収集運搬業者並びに処分業者から返送される manifests の写しを監督者に提出する。
- ・ 施設内の既存備品については、解体工事着手前までに施設管理者で撤去する。
- ・ 基礎、便槽解体撤去後は、現況GLまで山砂による埋戻しを行う事。
- ・ 解体工事の範囲は以下のとおりとする。
  - － 建物、基礎、埋設枳・埋設配管、外構工作物のすべての撤去処分工事。
- ・ 宮城県知事宛に「建築物除去届」を提出すること。

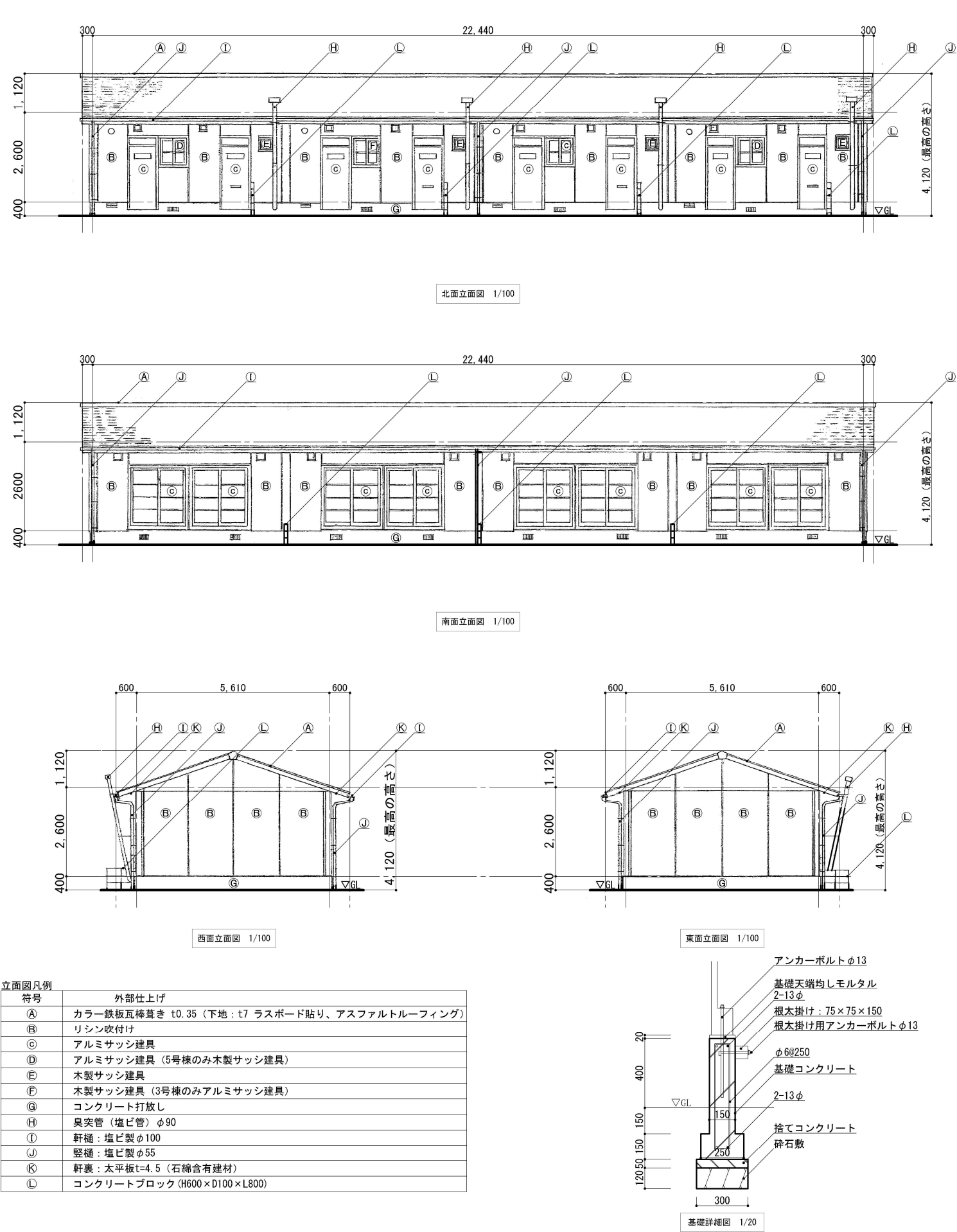
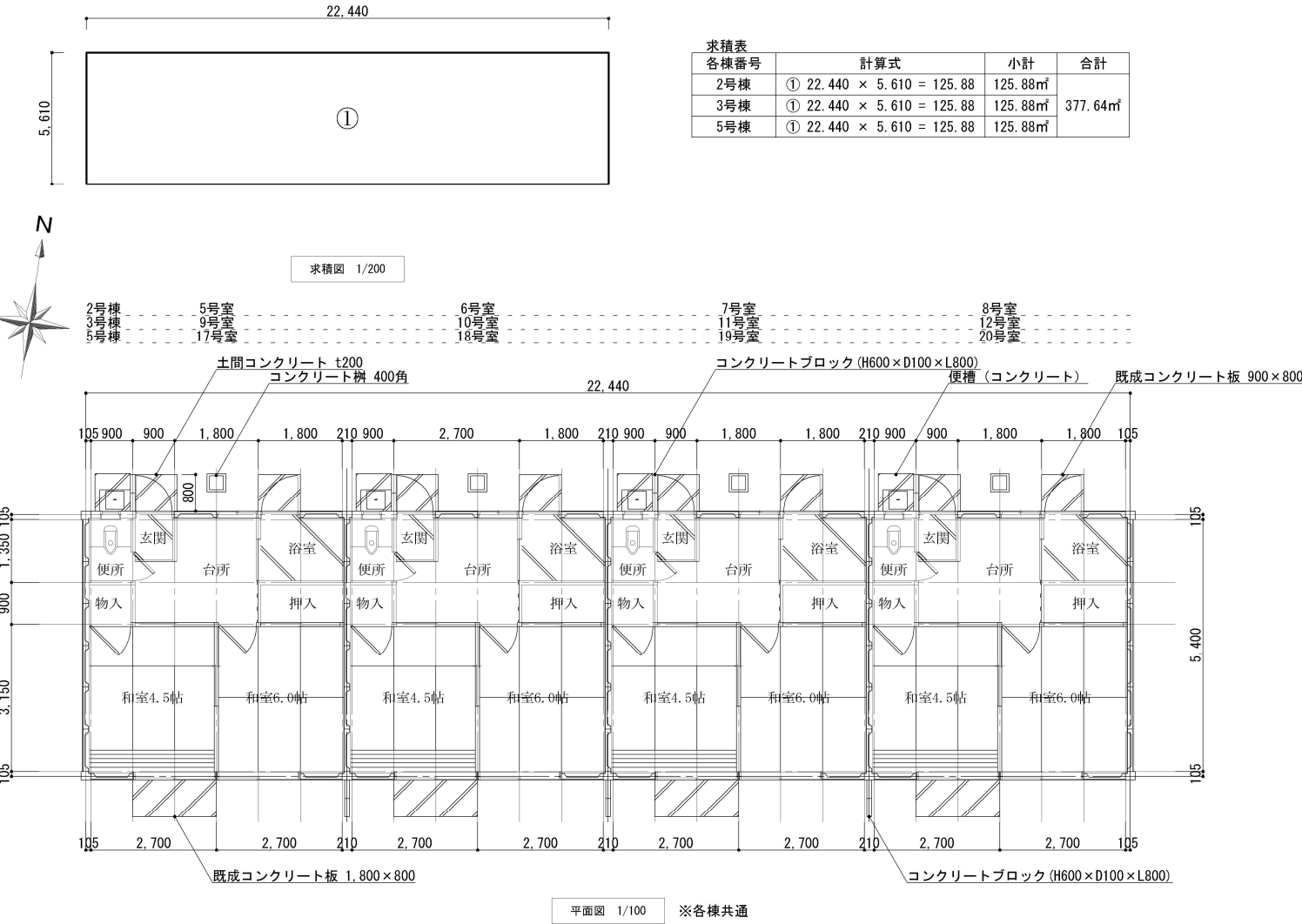


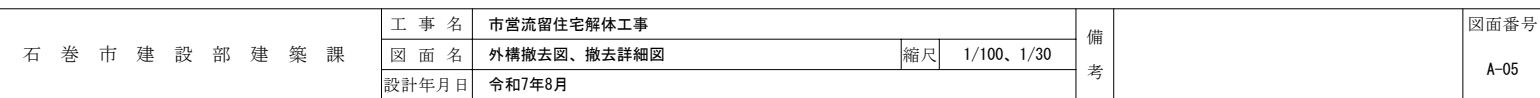
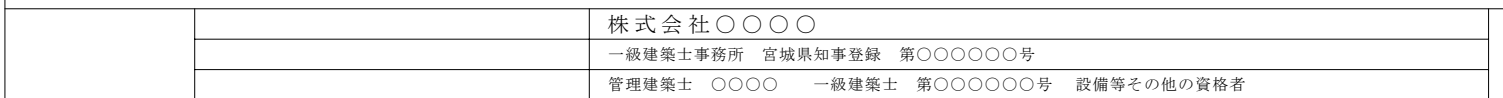
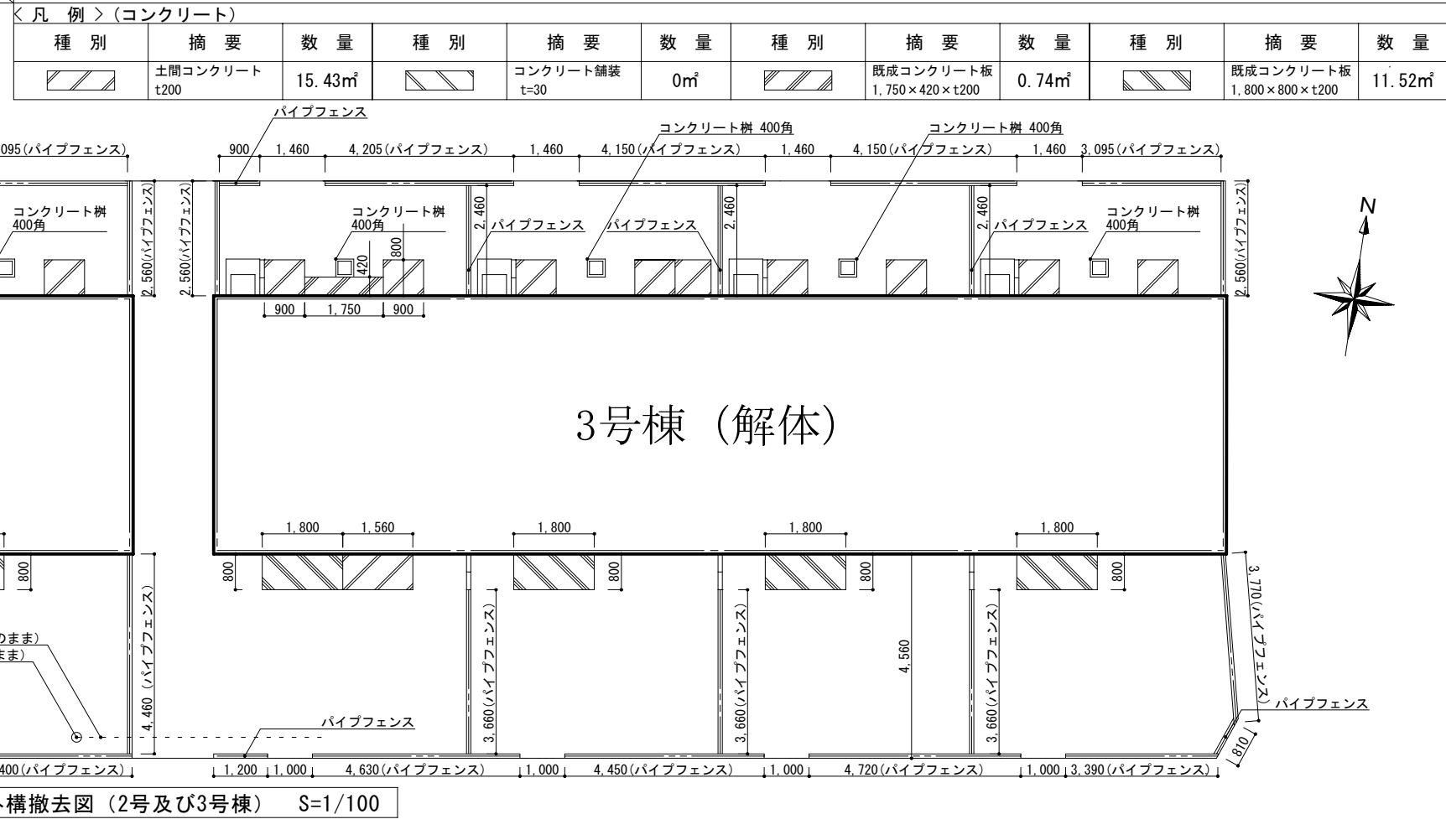
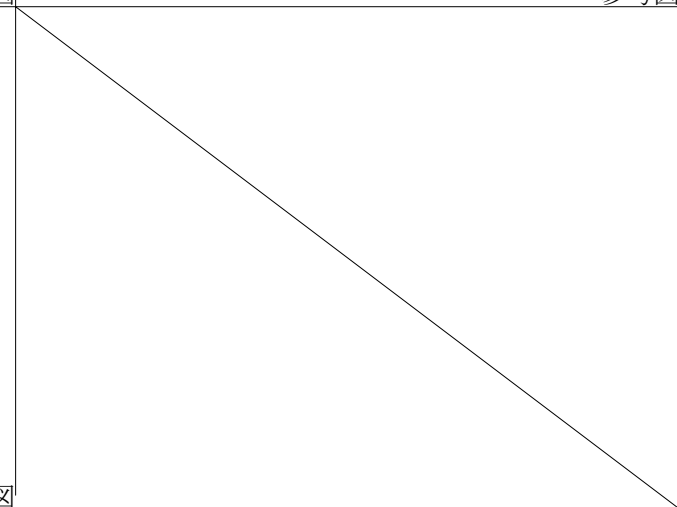
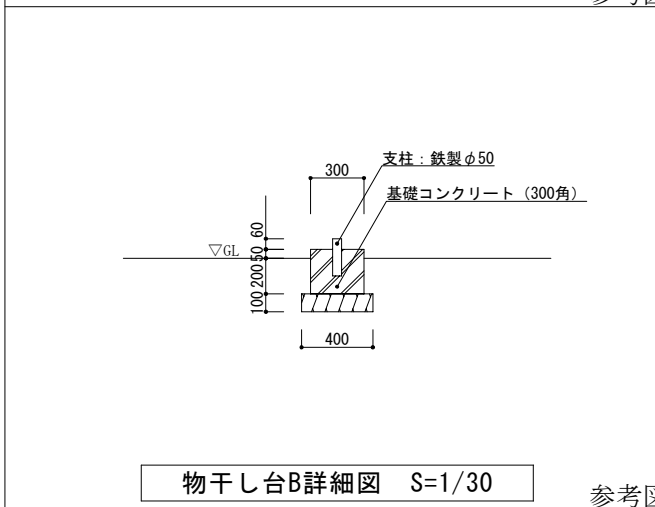


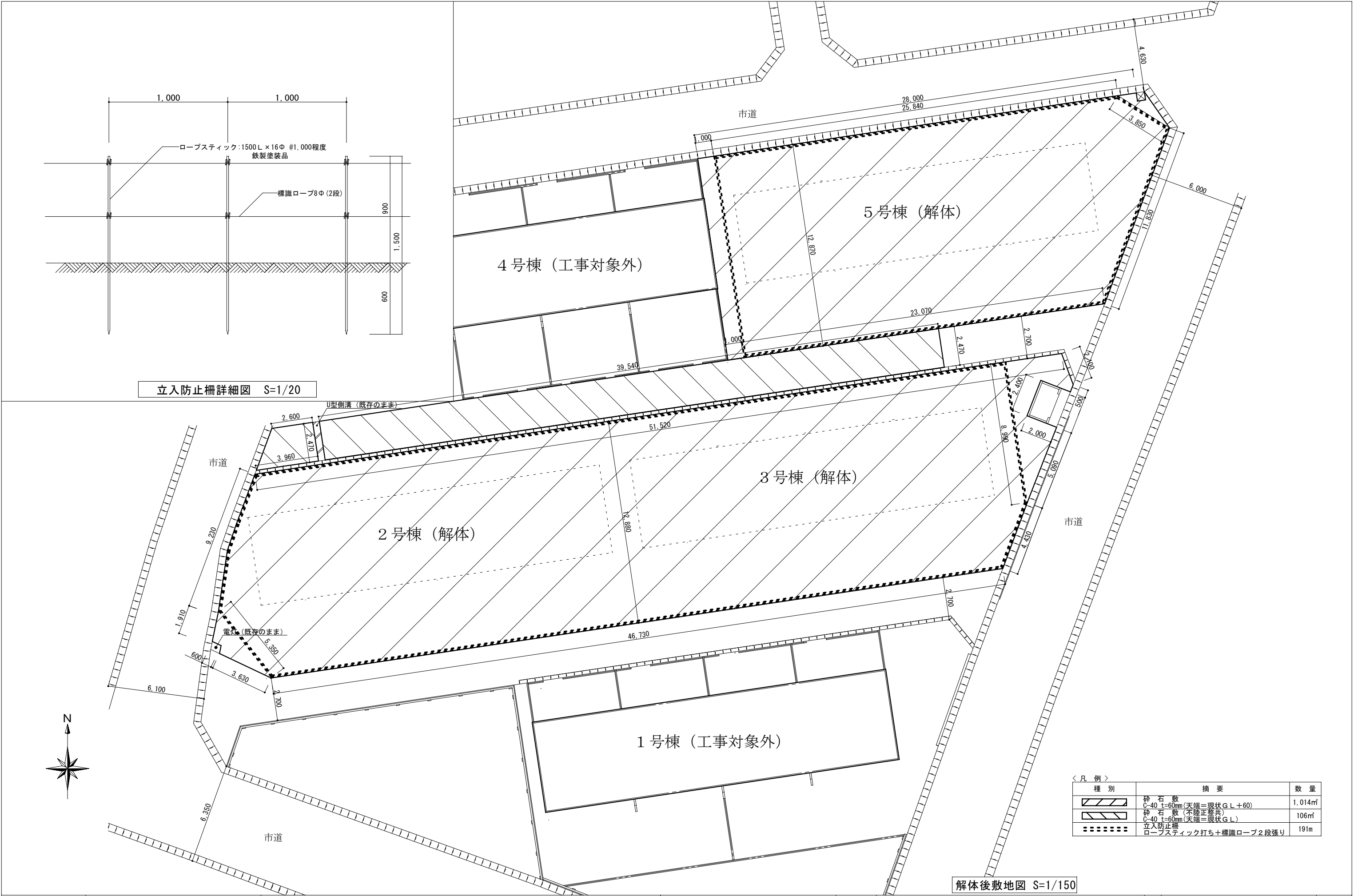
外部仕上表（2号棟、3号棟、5号棟）		
屋根	カラー鉄板瓦棒葺き t=0.35	アスファルトルーフィング下葺き 亜鉛メッキ雪止め金物φ455
雨樋	軒樋:塩ビ製100φ 壁樋:塩ビ製55φ	
外壁	リシン吹付け 組立目地コーキング	
軒天	大平板 t=4.5（石綿含有建材）	
外部幅木	モルタル薄塗り	
外部建具	アルミサッシ建具、木製サッシ建具	

内部仕上表（2号棟、3号棟、5号棟共通）				
室名	床	巾木	壁	天井
玄関	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ 木製巾木 H=130	塗装合板 t2.7	竿縁天井 板厚 t=2.5
台所	複合フローリング t=12 10号室のみ：ビニルシート貼り t=2.5（石綿含有建材）※ 塗装合板 t=9	木製巾木 H=45	塗装合板 t2.7	竿縁天井 板厚 t=2.5
便所	19号室のみ：ビニルシート貼り t=2.5（石綿含有建材）※	木製巾木 H=45	塗装合板 t2.7	竿縁天井 板厚 t=2.5
浴室	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	大平板 t=4.5（石綿含有建材）	羽目板張り t=9
4.5帖	荒板厚12mm下地 畳敷きt=60 一部：複合フローリング t=12 10号室のみ	畳寄せ	プリント合板貼り t2.5	竿縁天井 板厚 t=2.5
6.0帖	荒板厚12mm下地 畳敷きt=60	畳寄せ	プリント合板貼り t2.5	竿縁天井 板厚 t=2.5
物入	板張り t=9	雑巾摺り	ラワン合板貼り t=2.5 一部プリント合板貼り t=2.5	ラワン合板張 t=2.5
押入	板張り t=9	雑巾摺り	ラワン合板貼り t=2.5	ラワン合板張 t=2.5

【※】表記がある部分はアスベストが含有されているものとする。



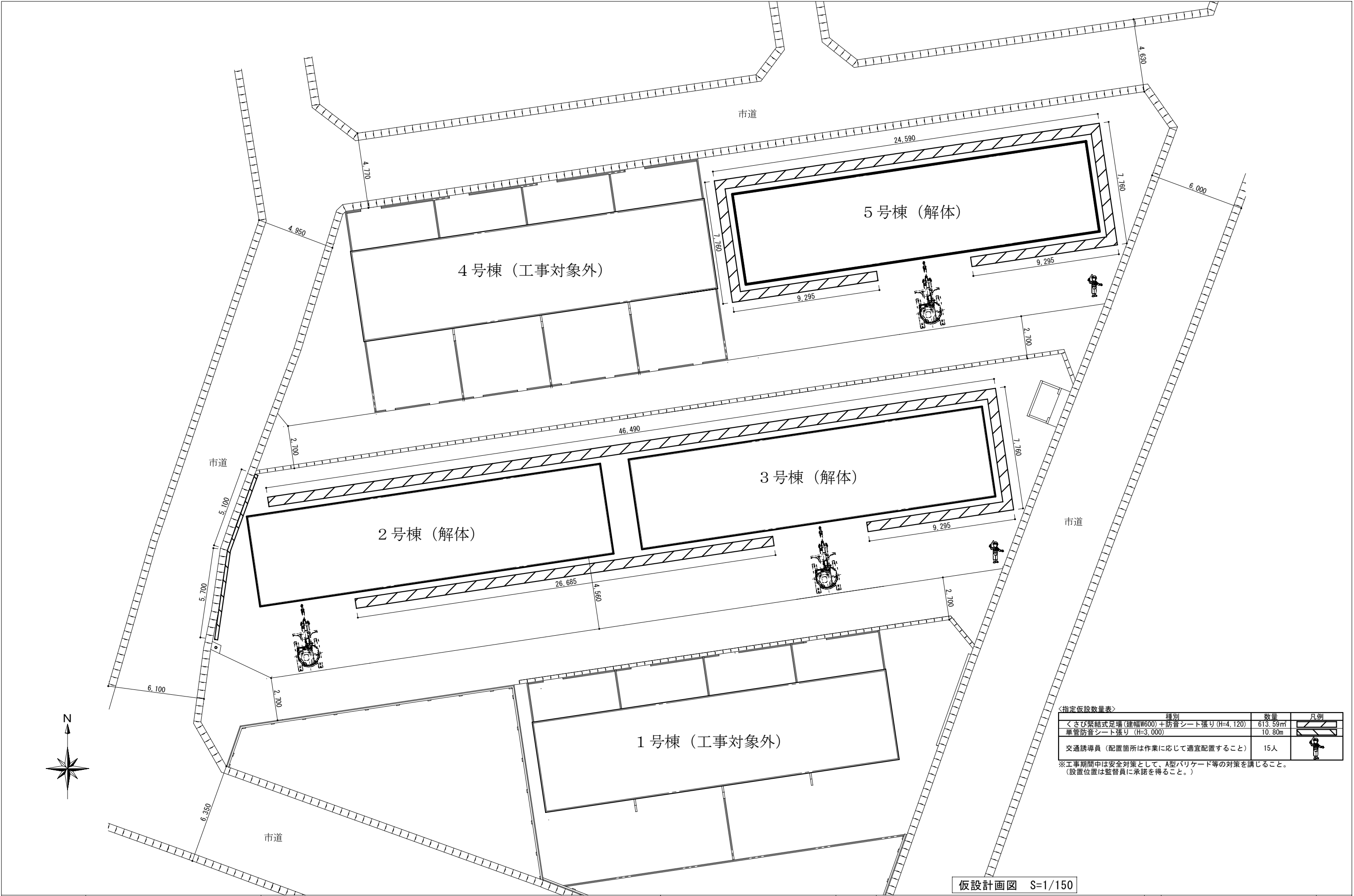




立入防止柵詳細図 S=1/20

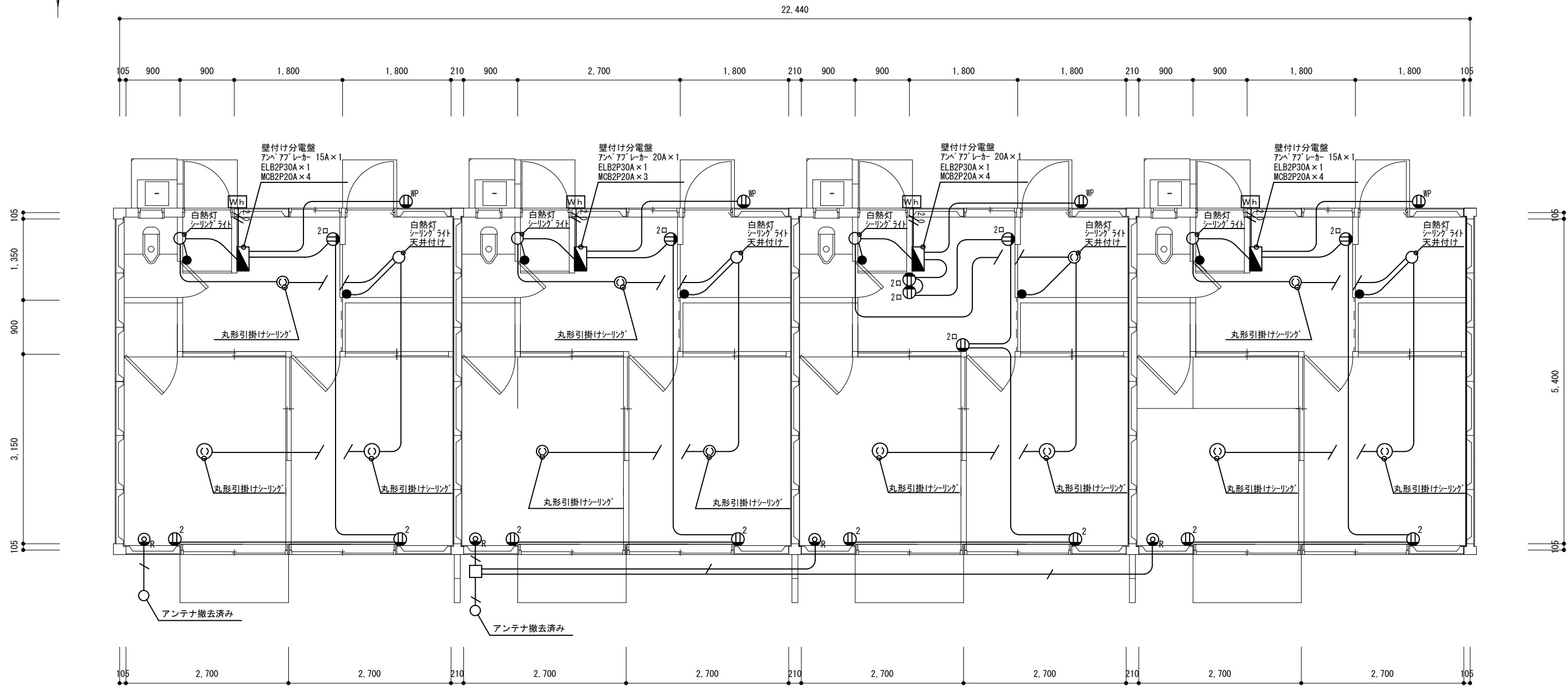
解体後敷地図 S=1/150

＜ 凡 例 ＞		
種 別	摘 要	数 量
	砕 石 敷 C-40 t=60mm (天端＝現状G L +60)	1,014㎡
	砕 石 敷 (不陸正整共) C-40 t=60mm (天端＝現状G L)	106㎡
	立入防止柵 ロープスティック打ち＋標識ロープ2段張り	191m



＜指定仮設数量表＞		種別	数量	凡例
くさび緊結式足場(建幅W600)＋防音シート張り(H=4,120)			613.59㎡	
単管防音シート張り(H=3,000)			10.80m	
交通誘導員(配置箇所は作業に応じて適宜配置すること)			15人	

※工事期間中は安全対策として、A型バリケード等の対策を講じること。  
(設置位置は監督員に承諾を得ること。)



2号棟平面図 1/50

凡 例

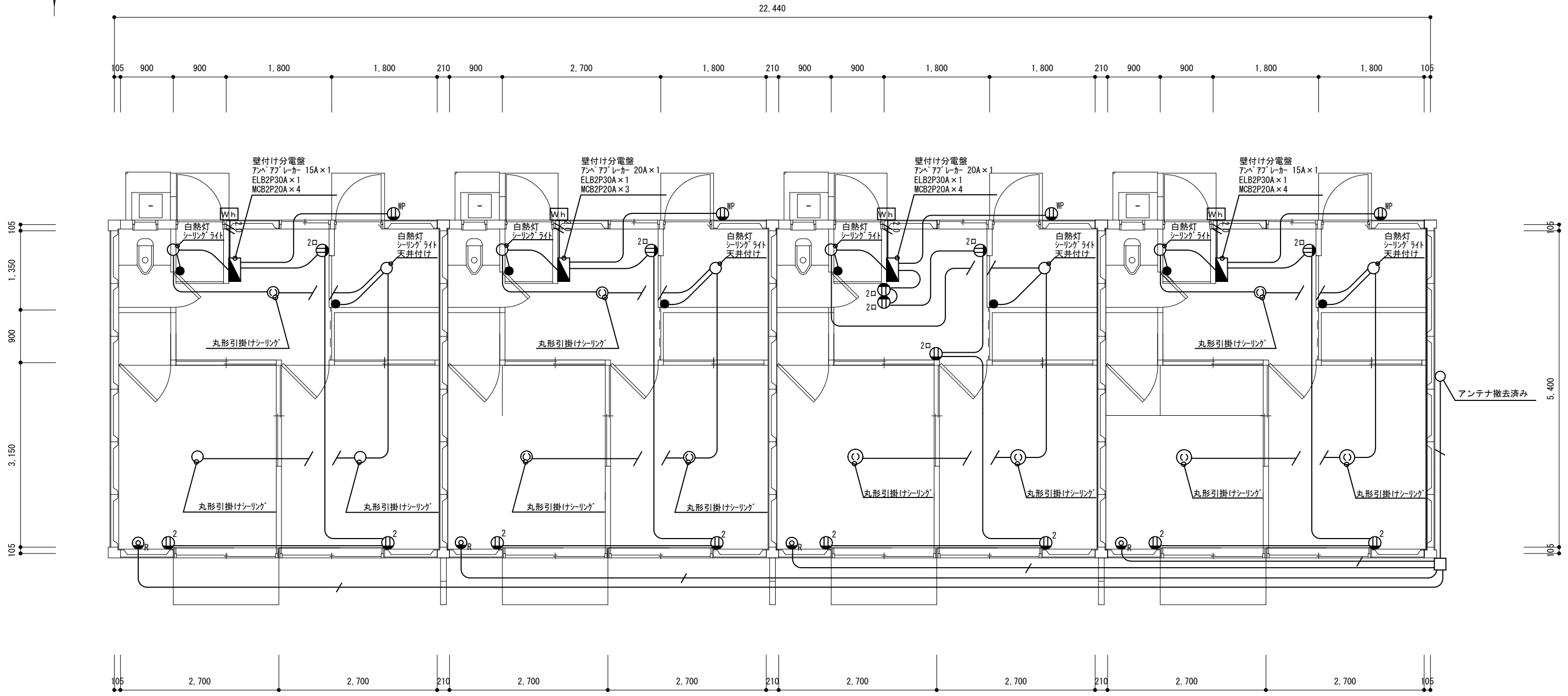
記 号	名 称	規 格	備 考
●	埋込スイッチ	1P15A×1	H=FL+1,300
⊖ <sub>2</sub>	埋込コンセント	2P15A×2 125V スリッパ付取付	H=FL+300
⊖ <sub>2</sub> □	露出コンセント	2P15A×2 125V	
□	分用分配器		
Wh	電力量計	電力量計取付板	電力会社支給品

配線凡例

—	WF1.6-2C
— <sub>2.0</sub>	WF2.0-2C
—	同軸ケーブル
※壁内のケーブル等の立上げ・立下げは、PF管にて保護しているものとする	

注 記

- 図に記載の機器・配管・配線（ボックス類を含む。）は、すべて撤去とする。
- 官公庁・電力会社への諸手続きは受注者が代行し、費用は、受注者の負担とする。
- P C B（安定器等）の有害物質の含無を撤出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処分方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適切に取り扱うこと。

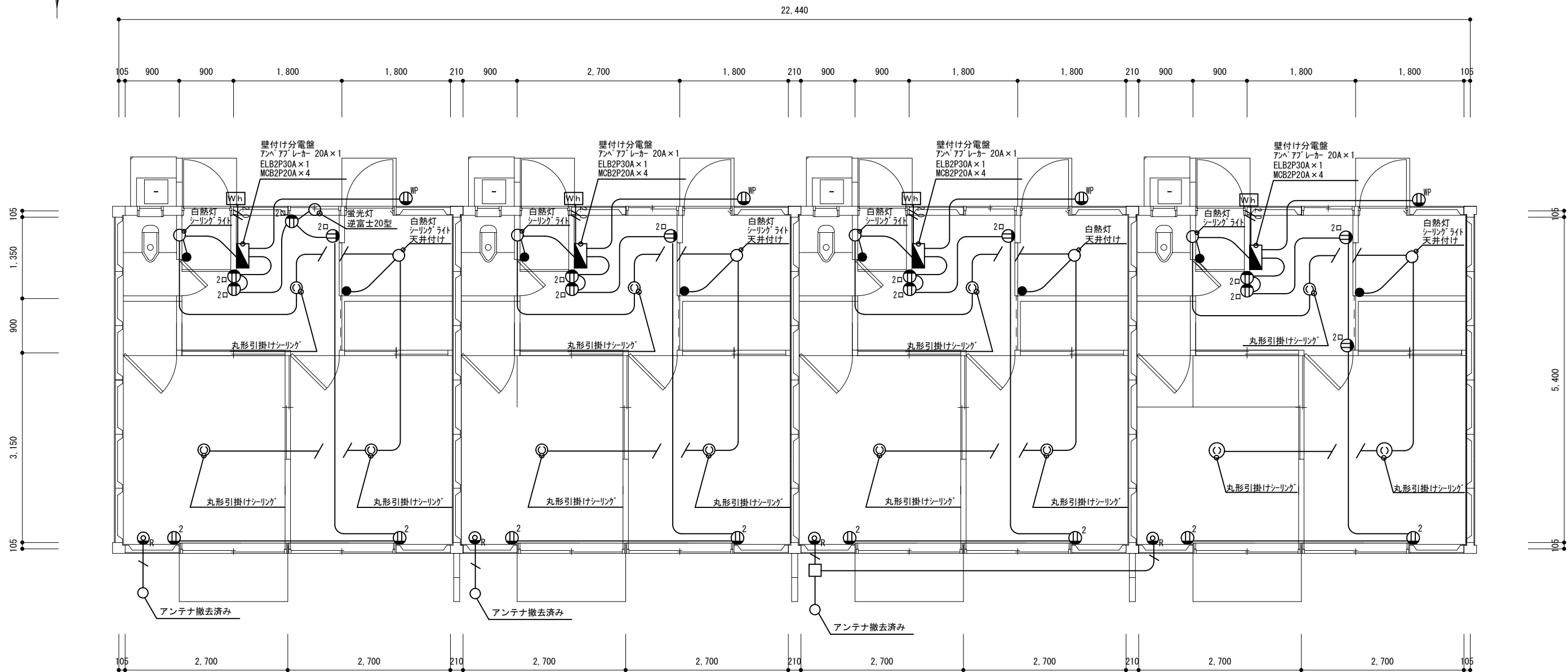


3号棟平面図 1/50

凡 例	記 号	名 称	規 格	備 考
	●	埋込スイッチ	1P15A×1	H=FL+1,300
	⊖	埋込コンセント	2P15A×2 125V スリットカバー付	H=FL+300
	⊖	露出コンセント	2P15A×2 125V	
	□	分用分配器		
	Wh	電力量計	電力量計取付板	電力会社支給品

配線凡例
— VVF1.6-2C
— 2.0 VVF2.0-2C
— 同軸ケーブル
※壁内のケーブル等の立上げ・立下げは、PF管にて保護しているものとする

- 注 記
- 図に記載の機器・配管・配線（ボックス類を含む。）は、すべて撤去とする。
  - 官公庁・電力会社への諸手続きは受注者が代行し、費用は、受注者の負担とする。
  - P C B（安定器等）の有害物質の含無を撤去前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処分方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適切に取り扱うこと。



5号棟平面図 1/50

凡 例

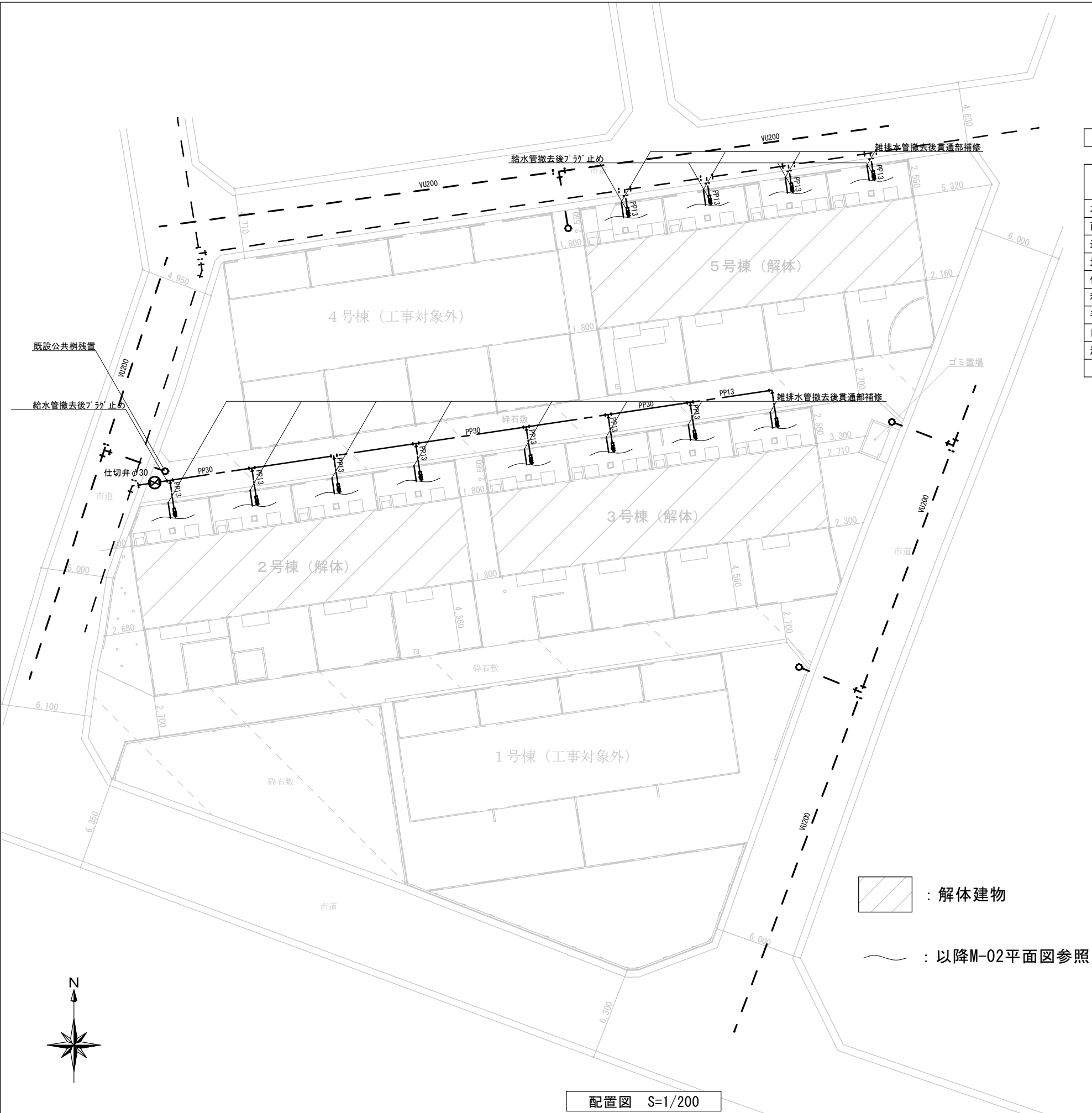
記 号	名 称	規 格	備 考
●	埋込スイッチ	1P15A×1	H=FL+1,300
⊖ <sub>2</sub>	埋込コンセント	2P15A×2 125V スイッチ付き取付	H=FL+300
⊖ <sub>2</sub>	露出コンセント	2P15A×2 125V	
□	分用分配器		
Wh	電力量計	電力量計取付板	電力会社支給品

配線凡例

—	WF1.6-2C
— <sub>2.0</sub>	WF2.0-2C
—	同軸ケーブル
※壁内のケーブル等の立上げ・立下げは、PF管にて保護しているものとする	

注 記

- 図に記載の機器・配管・配線（ボックス類を含む。）は、すべて撤去とする。
- 官公庁・電力会社への諸手続きは受注者が代行し、費用は、受注者の負担とする。
- P C B（安定器等）の有害物質の含無を撤去前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処分方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適切に取り扱うこと。



撤去器具表

名称	規格	数量	備考
水抜栓	20A	12	
丙止水栓	開閉防止ボ-ル式20A	12	2、3号棟分撤去・5号棟分残置 水道企業団指定品
逆止弁	メ-タ-用ユニオン付 φ13×φ20	12	水道企業団指定品
量水器筐	企業団型(中)	12	2、3号棟分撤去・5号棟分残置 水道企業団指定品
仕切弁	φ30	1	残 置
和風大便器		12	
手洗器		12	
自在水栓		12	
混合水栓		12	

【特記事項】

- 1 配管凡例
- 撤去給水管（地中配管）ポリエチレン管（PP）  
（一般配管）ポリ粉体塩ビライニング鋼管（PB）
- =====

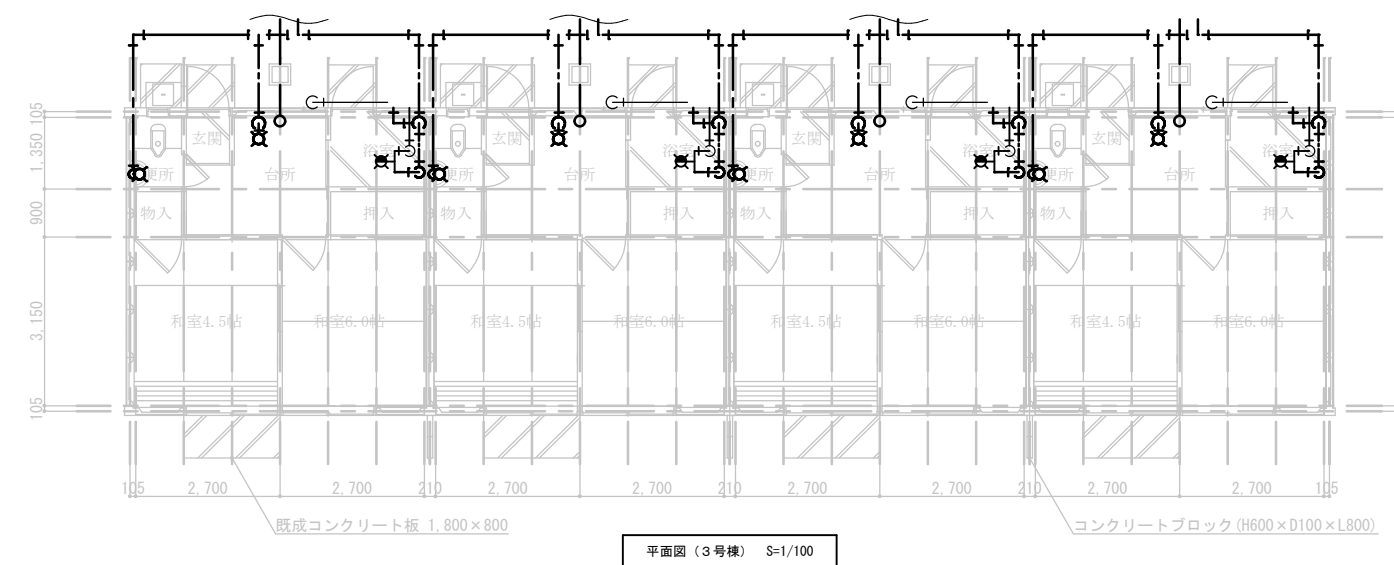
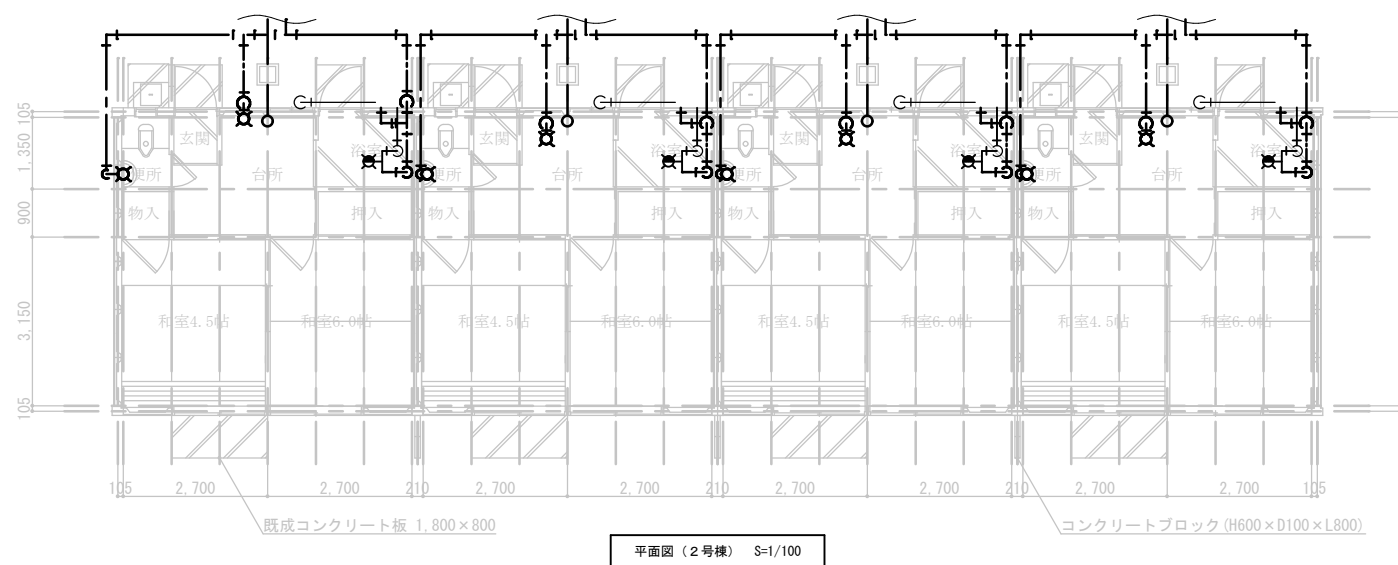
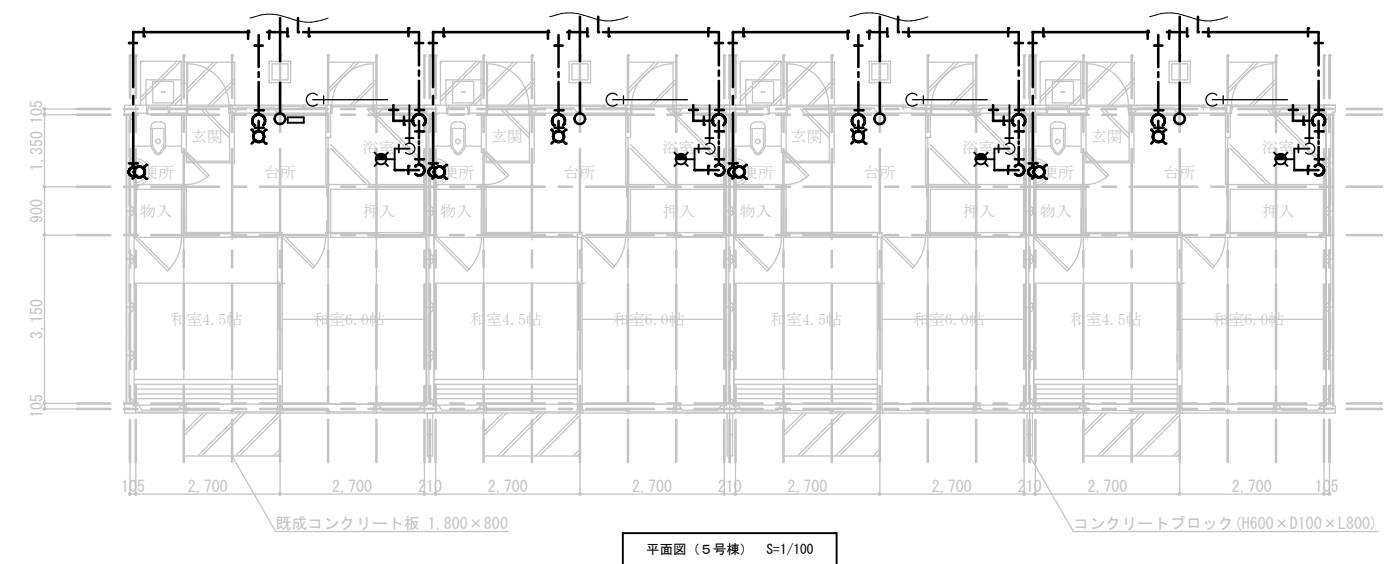
撤去給湯管（一般配管）給湯用被覆銅管
- =====

撤去排水管（地中配管）硬質ポリ塩化ビ-ル管（VP）
- =====

撤去ガス管（一般配管）白管（SGP管）
- 給水本管
- 残置排水管（地中配管）硬質ポリ塩化ビ-ル管（VP）
- 2 敷地内すべての給排水衛生設備を撤去する
- 3 2、3号棟の外部給水管は仕切弁φ30まで撤去しプラグ止めを行う  
5号棟の外部給水管はメ-タ-以降撤去とする  
排水管は敷地内外の側溝まで撤去し貫通孔の補修を行う
- 4 上水道施工にかかわる関係機関との協議を速やかに行い、  
本工事対象の3棟12室分の廃止手続を行うこと
- 5 給水管撤去後は現場発生土にて埋め戻しを行う  
表層60mmについては建築工事にて砕石敷きを行う

参考図





【特記事項】

- ## 1 配管凡例

— — — 撤去給水管 (地中配管) ホリエチレン管 (PP)  
(一般配管) ホリ粉体塩ビライニング鋼管 (PB)

—— 撤去給湯管 (一般配管) 給湯用被覆銅管

—— 撤去排水管 (地中配管) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

—— 撤去ガス管（一般配管）白管（SGP管）

— — 給水本管

— — 残置排水管 (地中配管) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

- 2 敷地内すべての給排水衛生設備を撤去する
- 3 給水管は給水管は敷地境界まで撤去しプラグ止めを行う  
排水管は敷地内外の側溝まで撤去し貫通孔の補修を行う
- 4 上水道施工にかかわる関係機関との協議を速やかに行い、  
本工事対象の3棟12室分の廃止手続を行うこと

## 参考図

		石 卷 市 建 設 部 建 築 課	工 事 名	市営流留住宅解体工事			備 考	図面番号  M-02
			図 面 名	各棟平面図・特記事項	縮尺	S=1/100		
			設計年月日	令和7年8月				